

公的医療機関等 2025 プランについて（地域医療構想関係部分抜粋）

名古屋市厚生院
<p>【地域において今後担うべき役割】（P6）</p> <p>記載なし</p> <p>< 厚生院の現状 ></p> <p>・主な役割・機能</p> <p>厚生院附属病院は、医療法に基づく病院及び生活保護法による医療保護施設として運営しており、基本的な役割として次のような事業を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 高齢者福祉施設等協力病院機能 <input type="checkbox"/> 医療保護施設機能 <input type="checkbox"/> 紹介入院機能 <input type="checkbox"/> リハビリ入院機能 <input type="checkbox"/> 居宅療養支援機能 <input type="checkbox"/> 後方支援病院機能 <input type="checkbox"/> 介護療養型医療施設 <input type="checkbox"/> 短期入所療養介護
<p>【今後持つべき病床機能】（P9）</p> <p>記載なし</p> <p>< 病床機能報告の報告状況 ></p> <p>当院の特徴として、併設の特別養護老人ホームや救護施設からの入院患者については、心不全や肺炎、気管支炎等の疾患に対し、主に急性期機能として対応しています。</p> <p>また、在宅からの入院や、他の高齢者施設への後方支援としての入院については、元の自宅や施設へ戻ることが出来るよう医療やリハビリテーションを提供し、主に回復期機能としての役割を担っています。</p> <p>さらに、医療保護入院や紹介入院では、急性期を経過したものの、在宅生活や施設入所ができない方に対し、主に慢性期機能として入院医療を提供しております。</p> <p>こうした当院の特徴や、入院基本料を「15 対1」に設定していることを踏まえ、国が作成した病床機能報告の報告マニュアルを参考にすると、厚生院附属病院は慢性期機能に該当するため、院内の病棟全てで慢性期機能を選択しております。</p>

【今後の方針】			
	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期			
急性期			
回復期		記載なし	
慢性期			
(合計)			

< 今後の方向性について >（P10）

名古屋市では、平成 27 年 2 月に公表された「公の施設等における民間活力活用の総点検を踏まえた取組方針について」において「今後の厚生院の果たすべき役割や、それに基づく運営手法など必要な事項について検討していく」との取組方針が示されたことを踏まえ、名古屋市健康福祉局内にて、「名古屋市厚生院のあり方検討会」を開催するなど、今後の厚生院のあり方について検討している所です。

【その他の数値目標】

記載なし